学 年 単元名 教科等 日 時 第6学年 わたしと宮崎 令和3年2月10日(水)2校時 総合的な学習の時間 (わかたけ) (修学旅行の学びを5年生にアピールしよう)

「考えるための技法」を生かした学習活動の在り方

本時における 「学びのつながり」

本時では、本年度行った修学旅行では、十分な活動時間をとることができず、訪れた観光地のよさを十分 に味わうことができなかったことに改めて気付かせるために、「時間があったらできたこと」を考えさせる 活動を取り入れる。その際、話合いに活用できそうなチャートを挙げさせ、そのよさを確認することで、目 的に合ったチャートで、根拠のある話合いができるようにする。出された意見の共通点を見出す話し合い を基に、よりよい行程にするための方法について、自分の考えをもつことができるようにする。

「焦点化」「多面的、多角的に見る」~これまで学んできたツールを自分で選択して 活用した考え方

【課題設定~見通しをもつ】

それぞれの観光地 の活動時間は、実際 にはこれぐらいあ りまっと増えた。この時らい時にいるとはどのよれなはどのはとがその観光をできたのかったとがその観光を 整理してみよう。





れまで活用してきた ものがあるね。そのなかから自分で整理しやす いものを選んでみよう。



【考えを整理】~見学する時間が、もっとあれば、どのようなことができたのかについて~

自分の意見をま とめるには、どの まとめ方がいいかな? 分かりやすく て、比べやすいものがいいと思う な?



時間ができれ ば、もっと遠くに あるところに行 けたと思うよ。 そうすれば、そ このよさをもっ と実感できたの では?



【まとめやすい方法を選択して一人で考える段階】

さっき聞いた 意見とも違う ういう考え もあるのか



わたしは、 間があれば、こと があって があって も がこと と います。 っとよさを できます。

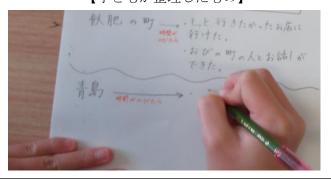
【少人数で伝え合う段階】



限られた時 間しかないか ら、ぼくはAの 時間を短くし て、Bの時間を 長くすれば、 の観光地のよ さが伝わると 恵います。

【全体で意見を共有する段階】

【子どもが整理したもの】



【整理した考えを基に、追究するための問い】



限られた 時間しかな いよっき 良る ためには、 行程をどう すればいい かな?

【授業をふりかえっての考察】
予定では、グループの活動を計画していたが、一人一人でこれまで身に付けてきた「考え方」を生かしたいということで、個人で考える時間に変更を行った。個人で考えたものを基に、仲間と意見交換の場をもつことで、自分が行った「考え方以外」のものに触れることで、様々な考え方に触れる機会を作ることができた。また、仲間から別の視点からの意見や同様の思えをもらうことで、自分の考え方の自信につながるととまた。名様な考え方に気はくきっかけとなった。 自信につながるとともに、多様な考え方に気付くきっかけとなった。

時間が足りず、問いに対す る考えをもつ段階で終了

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

〇 指導計画(12時間)

- (1) 5年生の修学旅行に対する思いを知り、本小単元の探究テーマを設定する。 ———2時間
- (2) 修学旅行の行程について話し合う。
 - ・ 修学旅行の行程で見直したいこと・・・・・・3 (3/3 本時)
 - ・ 修学旅行のよさを伝える方法 ・・・・・・2
- (3) 県内修学旅行のよさを伝え、本小単元のふりかえりをする。

---2時間

-8 時間

〇 本時の目標

修学旅行の行程をよりよくするために、自分の考えをまとめることができる。

〇 指導過程

学習活動及び学習内容

- 1 本時の学習問題を設定する。
 - 修学旅行の行程の問題点
 - 学習問題

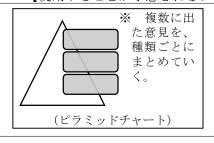
修学旅行の行程をよりよくするためには、どう すればよいだろう。

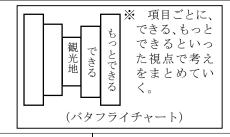
- 2 本時学習について見通しをもつ。
 - 共通の課題
 - ゆとりある時間
 - 考えること
 - それぞれの観光地でできるようになること
 - 使用できる技法
 - ・理由付け、関連付け、焦点化
 - チャートを使った話合い

【使用することが予想されるチャート】

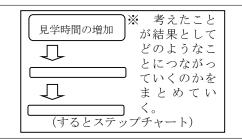
教師のかかわり ●研1 ■研2

- 前時までにまとめた修学旅行の行程で感じた問題点を提示することで、本時学習問題を設定できるようにする。
- 問題点のなかから「時間にゆとりがない」という共通の課題 を取り上げ、時間があれば各観光地で更にできたことがあるか 問うことで、各観光地を見学する意義を改めて考えることがで きるようにする。
- 話合いに活用できそうなチャートを挙げさせ、そのよさを確認することで、目的に合ったチャートで、根拠のある話合いができるようにする。





等



- 3 時間を確保すれば各観光地でできるようになること について話し合う。
 - グループで選択したチャートを使った話合い
 - ・「青島では、ゆとりをもって買い物もできるし、青島神社内の散策もできるようになるな。植物園も見ることができて、青島のよさを満喫できるよ。」
- 4 時間を生み出す方法について考える。
 - 時間を生み出す方法
 - ・訪れる観光地の数の工夫
 - 活動時間の工夫
 - 全体での話合い
 - ・「訪れる時間はどれも削れないな。だったら、訪れる数を減らす必要があるよ。どこも外せないけれど・・・。」
- 5 本時学習をまとめる
 - 本時学習の感想と使用した技法のよさ
 - 次時の学習の見通し
 - ・紹介スピーチの作成

- 時間を確保すれば各観光地でできるようになることについて様々な視点で意見を出させ、話し合わせることで、それぞれの観光地を訪れる意義について整理することができるようにする。 [焦点化する・多面的・多角的に見る→理由付ける]
- 「時間を生み出すために必要なことは何かな。」と問うことで、観光地の数や活動時間の工夫等の視点を明確にできるようにする。
- グループでまとめた意見について理由を明確にして紹介させ、出された理由を類型化しながら板書することで、論点を絞りながら時間を生み出すための話合いが進められるようにする。
- 本時使用した技法のよさについてふりかえりを行わせ、その 意見を共有させることで、根拠を明確にしながら自分の考えを まとめることの大切さに気付かせ、今後に生かすことができる ようにする。

9 本時の評価規準

学んだことと観光地としての魅力を基に、設定された課題を解決する方法について、根拠を明らかにしながら自分の考えをまとめている。 (思考・判断・表現)【学習プリント】